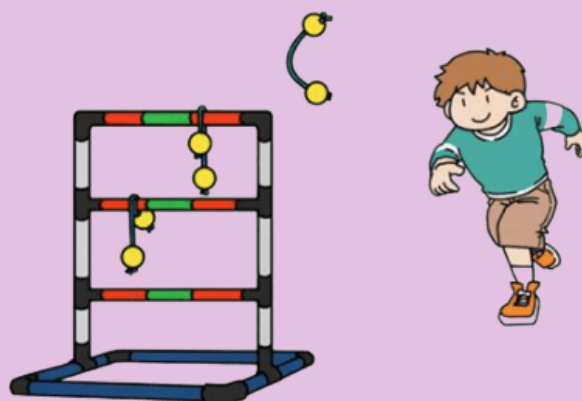


しがしクからの おたより



令和6年度 第3号 2025年1月

滋賀県レクリエーション協会 事務局 発行

送信・返信先 〒525-0052 滋賀県草津市西矢倉 3-17-13 黒川かず江方

Smile
for all

巳年をむかえて

会長 寺村 義伸

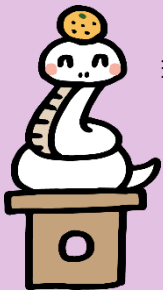
あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、本年もますますご活躍されることをご祈念申し上げます。本年も昨年同様、当協会の運営にご支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

さて、日本レクリエーション協会発行の「レクリエーション運動の五十年」において、『当協会は1954年に発足し、県レク大会を草創期から実施してきた』と、記されています。その県レク大会を昨年12月、当協会設立70周年記念の冠をつけて開催できました。こうした70年の歴史を築いてこれたのは、継続してレクリエーション運動を推進し、レクリエーションの普及・啓発にご尽力の方々がおられたからこそと思います。

とりわけ、当協会は、長年、公認指導者が中心になって運営し、事業、養成、広報等を行ってきました。指導者であるとともに協会の組織・運営に参画し、協会を牽引していただいたことで、今日の当協会があります。

これから先を見越した持続可能な協会づくりを推進していくには、多くの公認指導者の方々の積極的な協会運営への関りが必要であり、差し迫っています。



近年、当協会の広報活動に龍谷大学の学生さんが参画してくださいました。その若い力により情報発信をすることができ、県レクたよりも刷新されました。少し今までの自分から蛇のように脱皮していただき、皆さんの積極的な協会への関りをお願いしたいと思っております。その皆さんの力により、継続して県民の皆さんにレクリエーションを届け、こころの健康づくりをしていきたいと思っております。

皆さんの豊かな発想をもって運営に参画いただき、当協会を盛り上げていただきますよう、今年もよろしく申し上げます。



第2回 フォローアップセミナー

2月9日(日)に会員のみなさまを対象としたフォローアップセミナーを開催します。レクリエーション・インストラクターの資格を取ったものの指導する活動の幅が広がらない方やネタ不足に悩んでいる方もいることと思います。新たなスキルを身につけませんか?認知症予防にもなる変わった折り紙を作ります。詳しくは同封のチラシをご覧ください。

第71回滋賀県レクリエーション大会

2024年12月8日（日）長浜伊香ツインアリーナにおいて、長浜市レクリエーション協会と地域振興協議会の協力のもと、第71回滋賀県レクリエーション大会が開催されました。滋賀県レクリエーション協会会長（寺村義伸会長）挨拶、開会宣言の後、長年にわたって長浜市レクリエーション協会の事務局長をされている岩根 健治（いわね たけはる）様が、功績を認められて滋賀県レクリエーション協会より功労者表彰を受けられました。

あいにくの雨模様でしたが、アリーナでは『ニュースポーツの集い』ということで、卓球、パドルテニス、ユニカール、トリコロールキューブ、ディスコン、ポッチャ、モルック、クップ、フライングディスク、ストラックアウト、ラダーゲッターの11種目のニュースポーツを体験できるブースが設けられ、参加者は一種目体験することに台紙にシールを貼ってもらい、全部まわり終わると賞品として可愛いぬいぐるみをいただいていた。

ニュースポーツの他にも体力・筋力測定、血圧測定、ベジチェック（野菜摂取量が推定できる）や、姿勢チェックのコーナーもあり、盛りだくさんのイベントとなりました。

昼休憩の後は、雨脚も強くなったせいもあり、参加者が少なくなった分、スタッフも担当種目以外のニュースポーツを体験できました。

当日は参加された方々にも楽しんでいただき、スタッフ（県レク協会、各種協議会、レク龍大生、レク指導者講習受講生）も楽しませてもらった一日でした。



参加者のみなさん



パドルテニス



功労者表彰：岩根健治氏



ディスコン



クップ

レク龍プロジェクト

私たち龍谷大学の学生による「レク龍プロジェクト」は今年度も多くの方に支えられながら、様々な活動に取り組むことができました。

8月に開催した「浮き輪でGO!」では、定員を大きく超える参加希望者にお越しいただきました。イベント当日は天候にも恵まれ、参加者も私たちも笑顔の絶えない一日となりました。

さらに、レクリエーション講習会や全国レクリエーション大会、滋賀県レクリエーション大会などに参加させていただき、レクリエーションに関わる他の地域や団体の取り組みに触れることで多くの刺激を受け、よりレクリエーションの魅力を知ることができました。

私たちは一年を通し、滋賀県レクリエーション協会の広報部として、おたより作成や SNS 運営をさせていただきました。幅広い世代の方にレクリエーションの魅力や情報を届けるために様々な工夫をすることで広報の難しさや大切さを学ぶ貴重な機会となりました。

「レク龍プロジェクト」の活動を通し、レクリエーションは「楽しさ」を共有することで生まれるコミュニケーションなのだと実感しました。そして、どうすればより多くの人にレクリエーションについて知ってもらえるかを考え、大きな成長を遂げた一年となりました。

最後に、私たちの活動にご協力いただいた滋賀県レクリエーション協会の皆様には心より感謝申し上げます。皆様のご支援があったからこそ今年度の活動を無事に終えることができました。本当にありがとうございました。

来年度もさらにレクリエーションを発信できるよう引き続き努力してまいります。

(広報部 レク龍プロジェクト)

